

大腸癌転移巣に対する放射線療法の効果の検討（後方視的調査）

1、研究の対象

2016 年以降に当院で診療された大腸癌患者さんのうち、転移巣に対し放射線療法が施行された症例。

2、研究目的・方法

・研究目的：癌の三大療法は『手術』、『化学療法』、『放射線療法』とされていますが大腸癌では直腸癌に対する術前放射線療法以外転移巣に対する放射線療法はあまり施行されておらず学会・論文報告も少ないです。当院では積極的に放射線療法を取り入れており、その効果に良好な感触を得ています。症例を集積し治療効果を確認し有益な情報を報告したいと思います。

・研究方法：カルテレビューをしてデータ収集を行います。

・研究期間：臨床研究倫理審査委員会承認日（病院長許可日）～2027 年 3 月 31 日

3、研究に用いる試料・情報の種類

・疾患情報：性別、対象患者さんの病変毎の大きさ、放射線療法の種類、治療効果、合併の有無等。
カルテからの情報のみを用います。（試料はありません。）

4、個人情報の取り扱い

症例登録には登録症例の氏名、診療録 ID 等は使用せず、被験者の秘密保護に十分配慮いたします。研究の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含まないようにします。

試料・情報の管理について責任を有する者：外科 下部消化管外科部長 佐村 博範

5、お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、すでに学会や論文等で公表されている場合は撤回が困難であることはどうぞご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：浦添市前田 1-56-1 電話：098-878-0231（代表）

浦添総合病院

研究責任者：外科 下部消化管外科部長 佐村 博範